

【保護わんの活動紹介】

LINEスタンプを用いた「保護犬のわんこスタンプ」の企画では、元保護犬の可愛い表情や、かっこいい姿のスタンプを作って世の中に広めることで、こんなに明るく元気で可愛い保護犬のわんこたちがたくさんいるのだと知ってもらいたい狙いです。

スタンプが使われれば使われるほど、保護犬の存在が世の中に広まります。

また、収益は活動のための資金作りにもなります。

元保護犬の力をかりて、保護犬を救うというわけです。



「保護犬のわんこ写真集」では、これからの将来を担う子どもたちに、保護犬の存在を知ってもらいたいという思いから、元保護犬たちの現在の幸せな暮らしを写真と里親さんのメッセージで紹介しています。

小中学校や図書館への寄贈を積極的に行っています。

一般向けに電子書籍版(Kindle)も99円で発売しています。



コンテストを開催して制作した「保護犬のわんこかるた」は、保護犬たちの楽しい場面、笑える場面、可愛い場面、そんな写真札(ふだ)でいっぱいのかかるたです。

遊びながら保護犬のことを知ってもらいたいアイテムとして、家族で楽しむことができるほか、幼稚園や小学校での「かるた大会」などのイベントをおこなっています。



保護わん

LINEスタンプ(9種) / 啓発グッズ 発売中!



LINEスタンプのご購入はこちらから

保護犬のわんこLINEスタンプ



啓発グッズのご購入はHPのショップから

保護わんのホームページ
www.bbtv.jp



売上げの利益は全てプロジェクトの活動に使われます
(Instagram上で収支報告を行っています)



www.bbtv.jp

保護わん® 一般社団法人(非営利型)
保護犬のわんこ
東京都杉並区和田3丁目46-4
〒166-0012

お問い合わせ Mail hogoken@bbtv.jp

 Instagram



保護わん®



保護わん[®]

犬を飼う第1選択肢を保護犬に!

【保護わんの思い】

私たちは、犬を飼おうと思った時にお店から買うのではなく、保護犬から迎えるという選択肢を考えてもらうことで、一頭でも多くの保護犬の命を救いたいと、啓発活動をしています。

幸せになった元気で可愛い保護犬(元保護犬)たちの存在を知ってもらい、保護犬や動物へ関心を向けたり、命の大切さを知ることによって「安易に犬を飼(買)ったり、無責任に捨てたりしてはいけない」という価値観を持って貰いたいと思っています。

そうして、少しずつではありますが、保護犬や動物に対する社会全体の意識と価値観を変えることで、殺処分のない明るい日本の未来があると考えています。

殺処分をゼロに! みんなで蛇口を閉めましょう!

殺処分の数は数字の上では年々減っています。しかし、その分引き出しをする愛護団体や、個人の預かりさんの負担が増えパンク寸前になってしまっています。

保護犬を生み出す蛇口は、人々の意識と価値観(消費者行動)にあると考えます。これを変えなければ、保護犬はいつまでたっても生み出されてしまいます。

需要(安易に流行の犬種を飼いたいというような)を無くさなければ、悪質な繁殖や生体販売という供給の構造は無くならないでしょう。(全てのお店やブリーダーの存在を否定するものではありません)

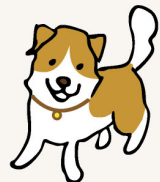
最近ではマスコミに取り上げられる機会も増えてきましたが、世間ではまだまだ保護犬の問題は知られていません。

私たち一人一人が問題を知り考えて変わらなければ、本当の意味での実行性のある法律の改正も難しいですし、犬を家族に迎える方法も一向に変わりません。

欧米に比べて大きく遅れている日本の動物愛護を、みんなで変えていきましょう!

「国の偉大さ、道徳的発展は、その国における動物の扱い方で判る」

マハトマ・ガンジー



保護犬啓発ポスター

全国5,000ヶ所の小中学校や街やお店などに保護犬の啓発ポスターを掲示しよう!

【保護わんとは】

私たちは「犬を飼う第1選択肢を保護犬に!」をメッセージに、保護犬の里親約900名と仲間が集まった団体です。

これまで保護犬の「写真集」や「かるた」「啓発ポスター」を製作して、保護犬を知ってもらう為のプロジェクトを行ってきました。

全国の小中学校などの教育現場や図書館に広がったこれらの活動の評価は高く、大きな成果を上げています。

現在は、保護犬の啓発の映画「吾輩は保護犬である」を製作中です。

将来的には、学校教育の「道徳」の中に、命の大切さを基本とした動物愛護についての授業を取り入れてもらうことが目標です。

保護わんでは、一つ大事なことを決めています。それは保護犬の問題をやさしい表現で伝えていこう、ということです。

この問題について、強烈な言葉を使ったり悲惨な現状の説明をしたり、同情をさそうような表現をすることで伝えたくはないという思いからです。そうしてしまうと、逆に恐いとか哀しいと敬遠されたり、人によってはトラウマになってしまう可能性があるからです。

一般の方に、また子どもたちにも伝えますので、なるべく違和感を感じさせることなく、特殊ではない話と言葉で入っていかねばならないと考えています。



保護犬って?

飼育放棄・迷子・野犬・ペット業界の問題など、何らかの理由で飼い主がおらず、保護された犬のことを、保護犬と呼んでいます。

その多くは各地の愛護センターや民間動物保護団体に収容(保護)されています。(犬種・成犬・仔犬 さまざまです)

【保護わんの特徴】

保護わんの大きな特徴は、忙しい主婦やお勤めの方でもいつでも何処でも、スタッフとして参加できることです。

「ボランティアに参加したいが時間の余裕がない」「寄付をすれば良いということでもない」という思いの方が潜在的に多くいる中で、何処に住んでいても、時間の無い方でも参加をすることができます。

一人一人が個別にスタッフとなって、LINEスタンプの使用による周知活動や、リーフレットやカードの頒布、写真集やかるたの使用、そして啓発ポスターの掲示のご協力によって啓発活動が出来ます。

また、ステッカーを車に貼ったり、缶バッジをやキーホルダーを身につけて周りの人に見てもらっただけでも、保護犬の啓発の活動になります。

そのような一人一人の地道な活動が連鎖して、今、大きなうねりになろうとしています。

一度、ホームページやインスタグラムを訪ねて下さい。みなさんも是非参加をよろしく願います。



犬を家族に迎えようと思ったら...

保護犬を迎えることを考えてみてください

環境省 保護犬譲渡情報

<https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/shuyo/info.html>

(各自治体でおこなわれている譲渡会や事前講習会など、保護犬の譲渡に関する情報が掲載されています) 民間の動物保護団体などによる譲渡会なども各地で多数開かれています。